



大証二部 8148



2011年3月期第2四半期決算説明会

2010年11月30日

社団法人日本証券アナリスト協会大阪支部企業分析部会
於 大阪証券取引所ビル北浜フォーラム

2011年3月期第2四半期決算資料

Copyright(c) Uehara sei shoji Co.,Ltd. All rights reserved.



本日のご説明内容

2011年3月期

1.上半期での当社の取り組みについて

代表取締役社長 上原 大作

2.上半期の決算の状況

専務取締役管理統括 上原 晋作



本日のご説明内容

2011年3月期

1.上半期での当社の取り組みについて

代表取締役社長 上原 大作

2.上半期の決算の状況

専務取締役管理統括 上原 晋作



会社概要

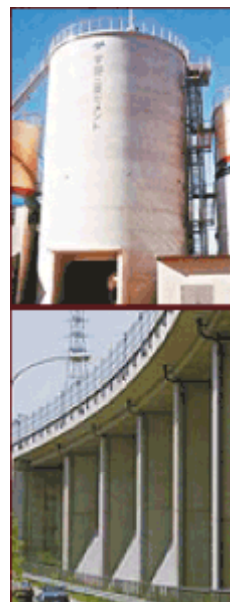
商号	上原成商事株式会社	本社所在地	京都市中京区
創業	昭和18年2月11日	設立	昭和23年10月25日
資本金	55億4968万円	株主数	1,574名
事業内容	エネルギー・建設資材の卸売・小売		
本社支店	京都・京都北・滋賀・湖北・東京・名古屋・大阪・松山 計8ヶ所 営業所・出張所9ヶ所、サービスステーション29ヶ所、油槽所3ヶ所 LPガス充填工場3ヶ所、ガスステーション2ヶ所		
連結会社	上成商事、新ダイヤ産業、昭和ガステック、山田ガステック 上原硝子、京都三協サッシ、山科三協ビルサッシ、上原産業 グロー・ガステック、湖北ガス 計10社		
持分法会社	豊国石油、橋立生コンクリート工業、ダン生コン 計3社		



主な取扱商品



産業用エネルギー
暖房用燃料
工業用潤滑油



セメント
生コンクリート
パイル・サッシ・ALC
住宅設備



自動車用燃料
車検・カーメンテナンス



リフォーム
家庭用LPガス



家庭用燃料電池

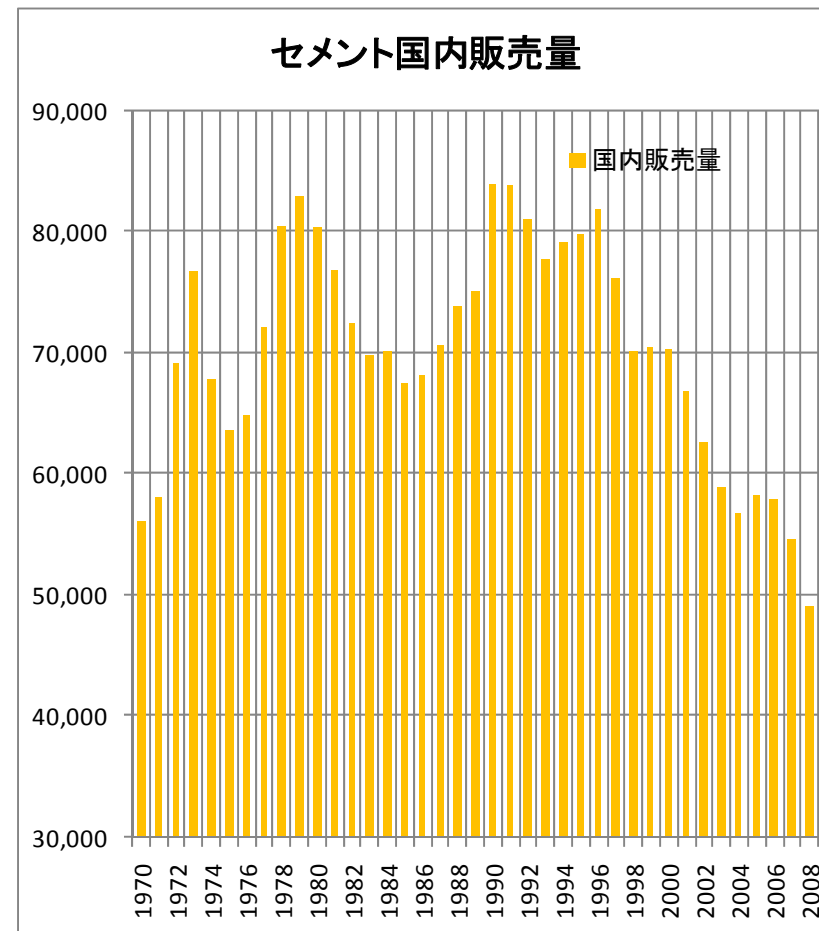
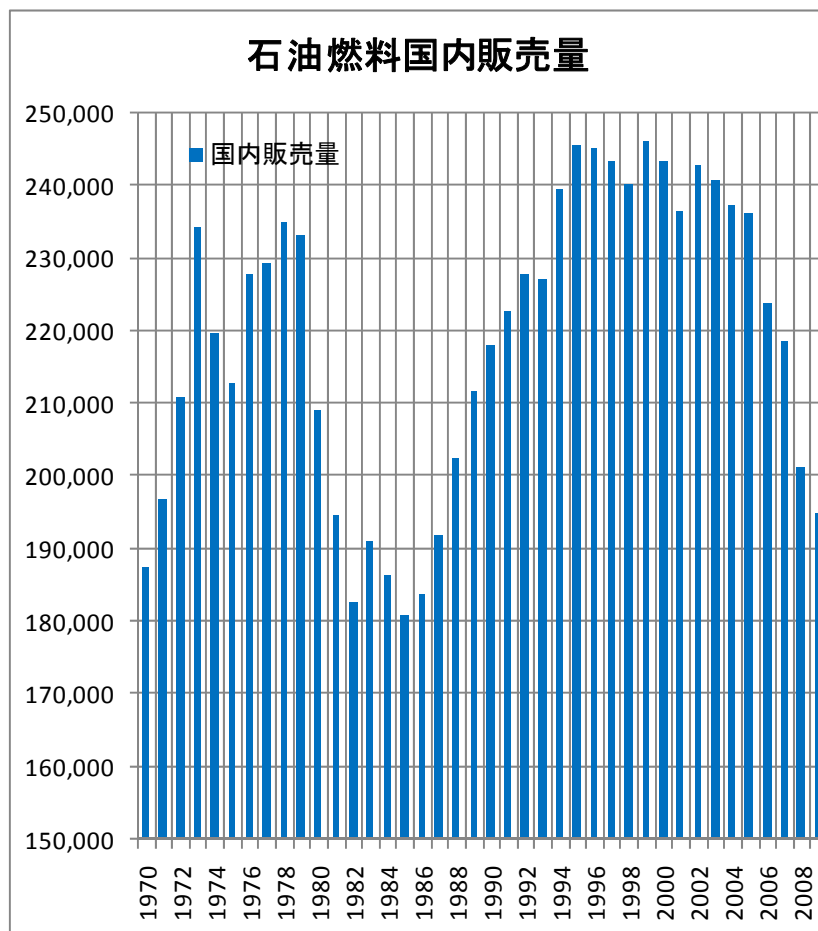


太陽光発電



業界の動向

(石油燃料の単位は千KL、セメントは千トン)



石油燃料、セメント共に需要は右肩下がりとなっております。

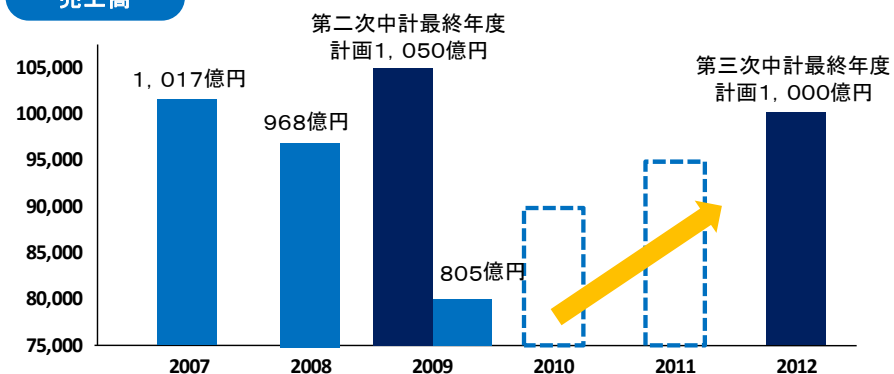


第三次中期経営計画

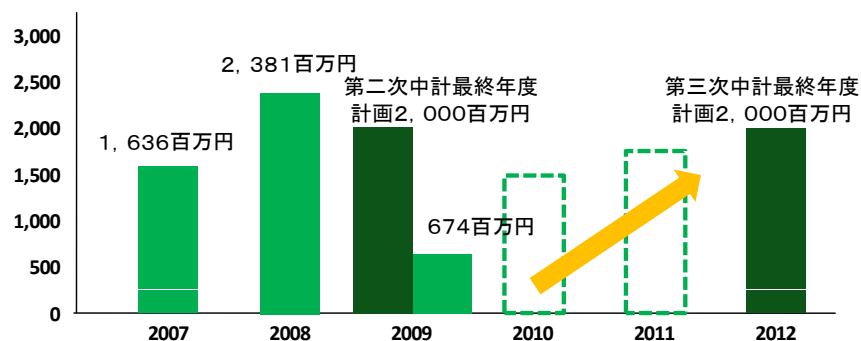
100年「想造」企業 上原成商事

～全てはステークホルダーのために

売上高



経常利益



顧客ニーズの発見と提案

豊かな生活の実現に向けて、
想いを形として作り上げる「想造」企業

創業65年、設立60年の節目を越え、
次なる100年を目指す



第三次中期経営計画

100年「想造」企業 上原成商事

～全てはステークホルダーのために

ビジネスモデルの機能不全は、量的変化ではなく価値観変化への対応不足によるもの
物を売るということは顧客の要求を捉え、顧客の需要を生み出すこと

生活産業商社として、実体ある商品のご提供を通じ、必要不可欠な企業となることで
社会に貢献する

基本戦略

①より簡素で効率的に → ROH目標の設定

ROH = リターン・オン・ヒューマンリソース

人的資源が生み出す最大利益・人的資源の最大活用・一人一人の能力の最大発揮

②より顧客の側に → セグメントの再区分

生活サポート事業と産業サポート事業の切り分け



第三次中期経営計画

100年「想造」企業 上原成商事

～全てはステークホルダーのために

上半期の取組み

<建設資材部門>

- ・セメント、生コンクリート、建材の取り扱いを一本化 総合受注体制の強化

<産業エネルギー部門>

- ・石油部京都支店と滋賀支店を統合、東京支店、湖北営業所を開設



<生活サポート部門>

- ・販売店1社を買収し連結子会社化 滋賀エリアでの小売販売体制再編
- ・家庭用LPガス販売について「かるがもガス」の愛称で展開
- ・リフォーム事業を建設資材部門から移管
- ・機器FCソーラーグループを設置し家庭用燃料電池と太陽光発電機器の販売に着手
- ・サービスステーション網の再編強化
- ・レンタカー事業を立ち上げ 上期に検討し下期から運営開始



第三次中期経営計画

100年「想造」企業 上原成商事

～全てはステークホルダーのために

上半期の取組み

<新規事業の研究開発>

- ・環境事業推進グループを設置
エコ=アスプロジェクトを開始



エコ=アス エコロジー=ウエハラセイ・スタンダード

環境保護は当社の基本
明日の豊かな生活、快適な環境を、私たちがお届けする

☆上半期実績

- バイオガソリン 当社担当部署取り扱いで31.1%の占有率
- 低燃費タイヤ 当社担当部署取り扱いで24.1%の占有率
- エコ建材、家庭用燃料電池、太陽光発電パネルでも実績



第三次中期経営計画

エコ=アスプロジェクトへの取り組みについて

2010年10月25日(当社設立記念日)に京都新聞にて全面広告を掲載

<http://www.ueharasei.co.jp>



**環境への取り組みにも、
京都産をめざします。**

個性的な味やカタチで、食卓を彩ってくれる京野菜たち。今では全国的にも広く知られるようになり、京都が誇れるものの一つとなりましたね。

私たち上原成商事も、同じく京都生まれ。建築やエネルギー関連を中心に、生活に欠かせない製品をお届けしている会社です。

皆さまの暮らしを支える生活産業商社として、暮らしの「明日」もしっかりと考える企業でありたい…。私たちは、快適なまち、快適な生活の実現を求めますが、それらを支えてくれる地球という存在も忘れてはならないと思っています。

そんな願いをこめてエコロジー製品の普及を薦める「ECO=US」プロジェクトをスタートさせました。ゆたかな京都の自然に育まれて暮らす私たちは、環境を保護する立場ではなく、環境に護られていると考えるべきではないでしょうか。だからこそ、少しでも環境にやさしい製品をお使いいただきたい——。そんな考えを私たちの基本姿勢にしようと思えました。

私たちにできることは、ほんの小さなことかもしれませんが、しかしいつの日か、このプロジェクトが大きく育ち「京都で産まれた環境への取り組み」と言われるようなものになればいいと思っています。

明日の、私たちの、地球のために。ウエハラセイ・スタンダード「ECO=US」です。



皆さまの身近なところで、地球環境との両立をめざしながら快適な暮らしを支えています。



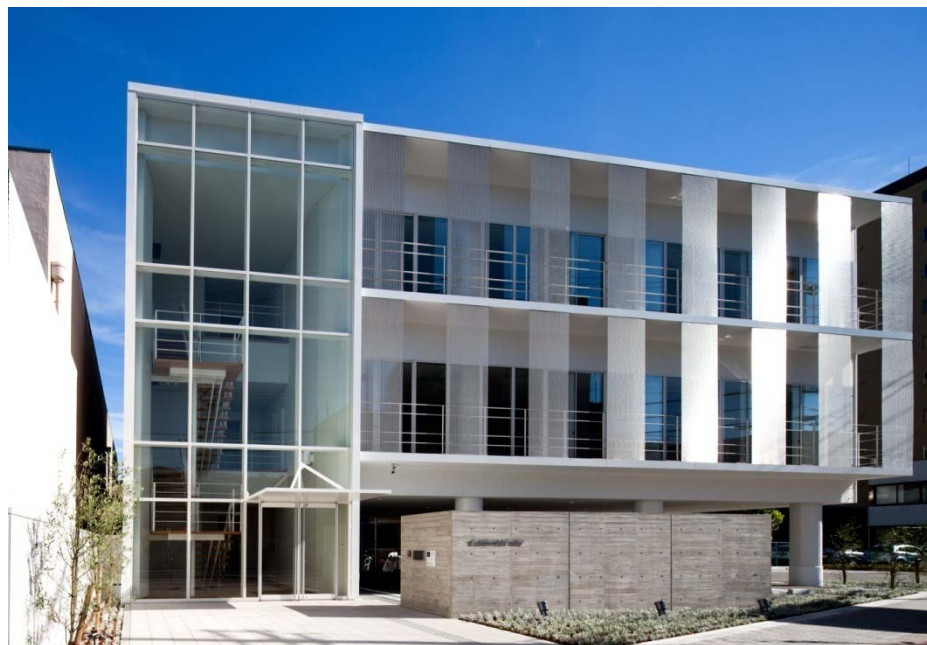
上原成商事株式会社

本社:京都市中京区御池通烏丸東入仲保町191 TEL.075-212-6000
支店:東京・名古屋・湖北・滋賀・京都・京都北・大阪・松山



そのほかのトピックス

大阪支店、上原硝子・京都三協サッシ新工場を建設



大阪支店

7月23日竣工

(大阪市淀川区)



上原硝子・京都三協サッシ新工場

12月竣工予定 (京都市伏見区)



本日のご説明内容

2011年3月期

1.上半期での当社の取り組みについて

代表取締役社長 上原 大作

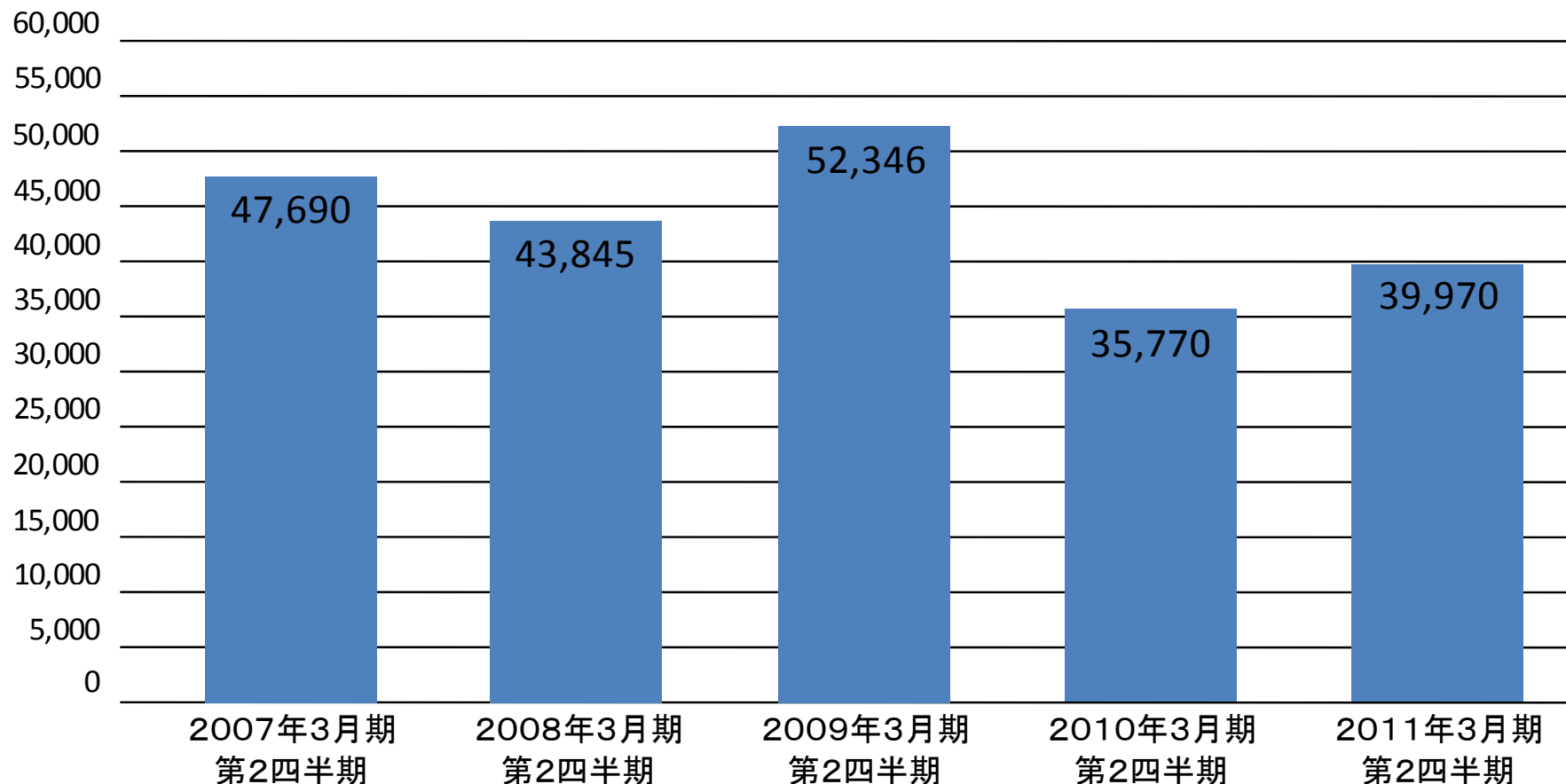
2.上半期の決算の状況

専務取締役管理統括 上原 晋作



営業収益の状況

(営業収益は売上高と役員収益の合計、単位は百万円)

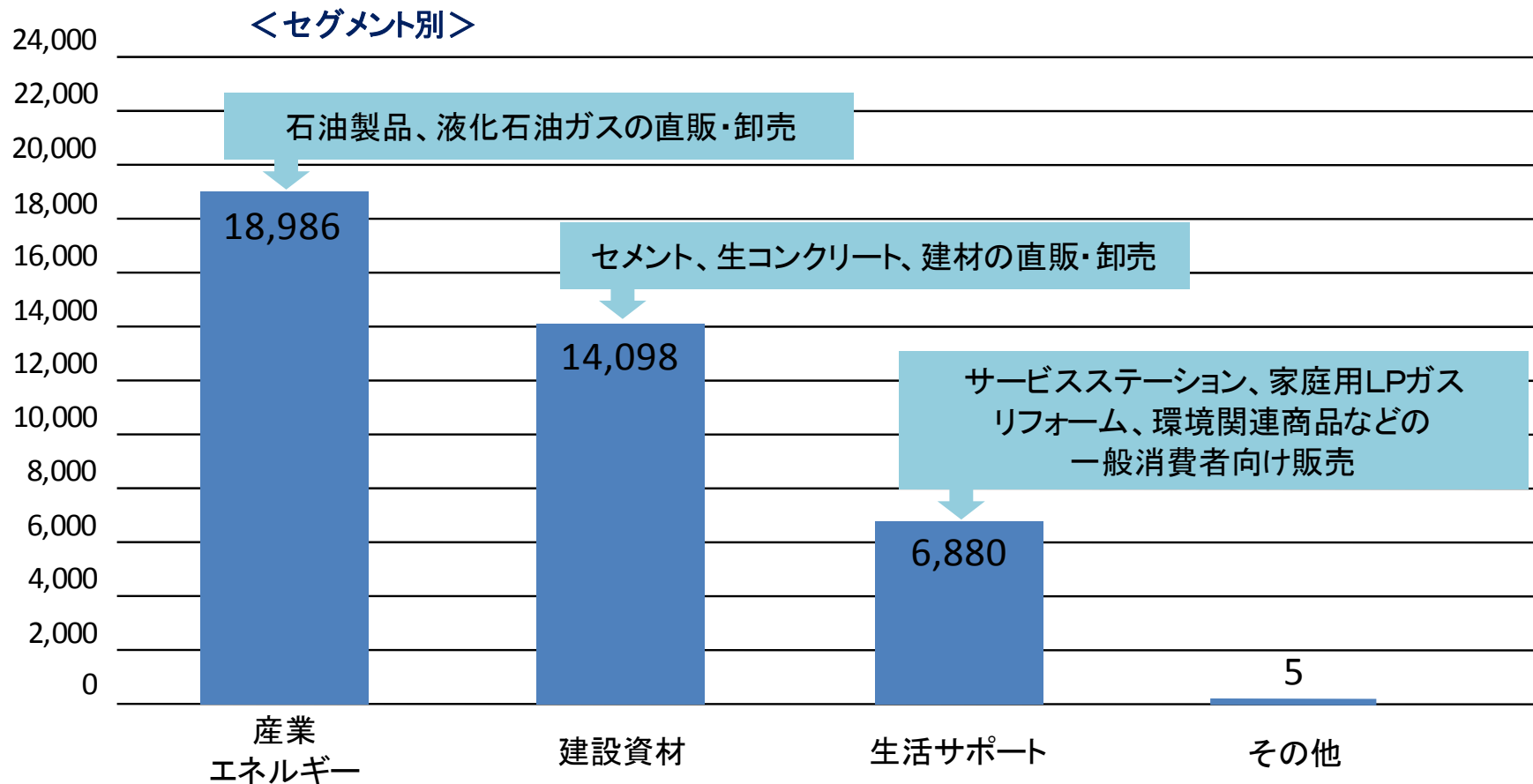


セメント、生コンクリートの出荷量が増加したことと、エネルギー単価の上昇により売上高は前年を上回りました。



営業収益の状況

(営業収益は売上高と役務収益の合計、単位は百万円)

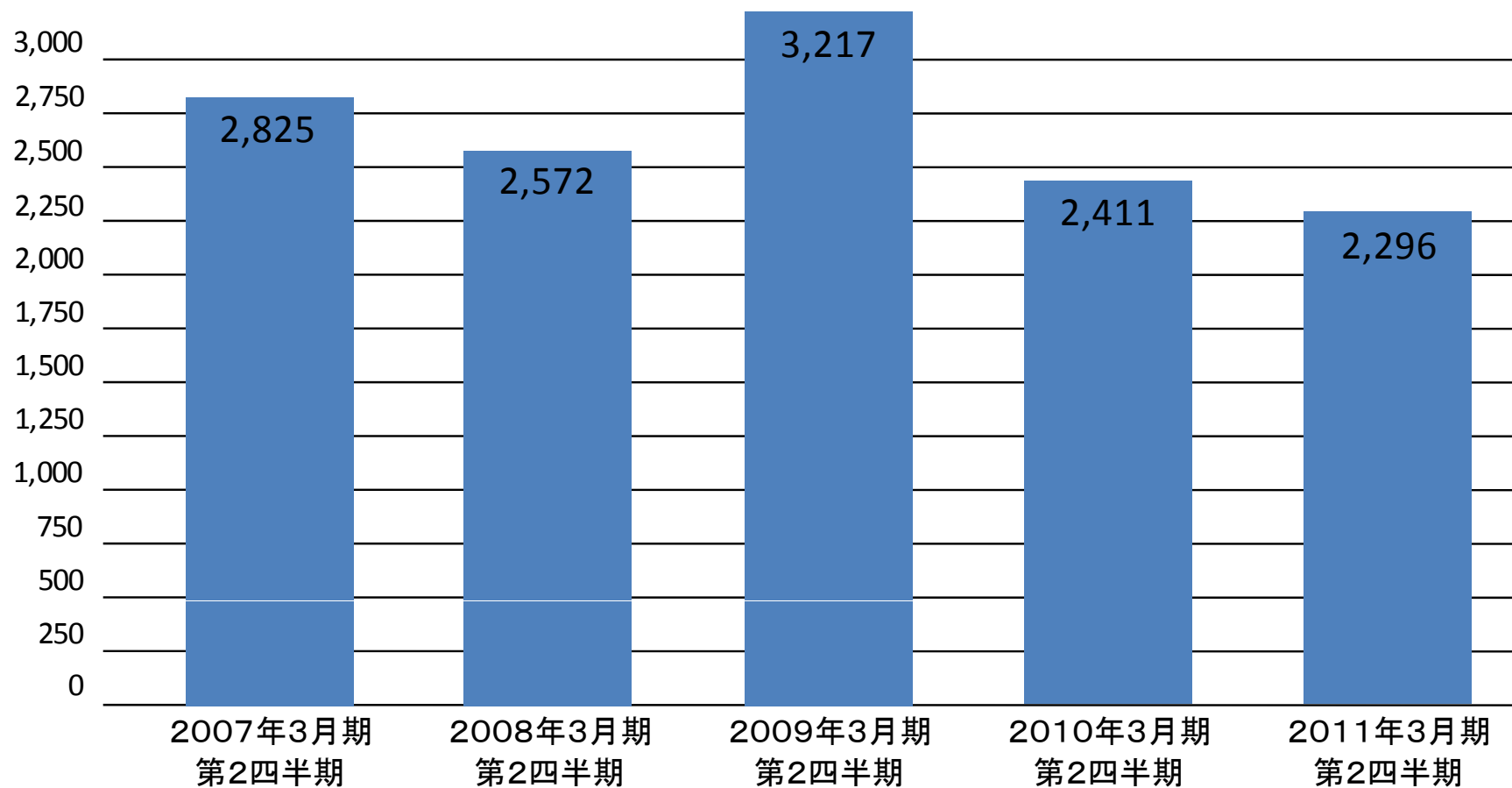


当社事業は今期から3つのセグメントに分類して報告いたしております。
 その他は本社ビルの地代賃貸等です。



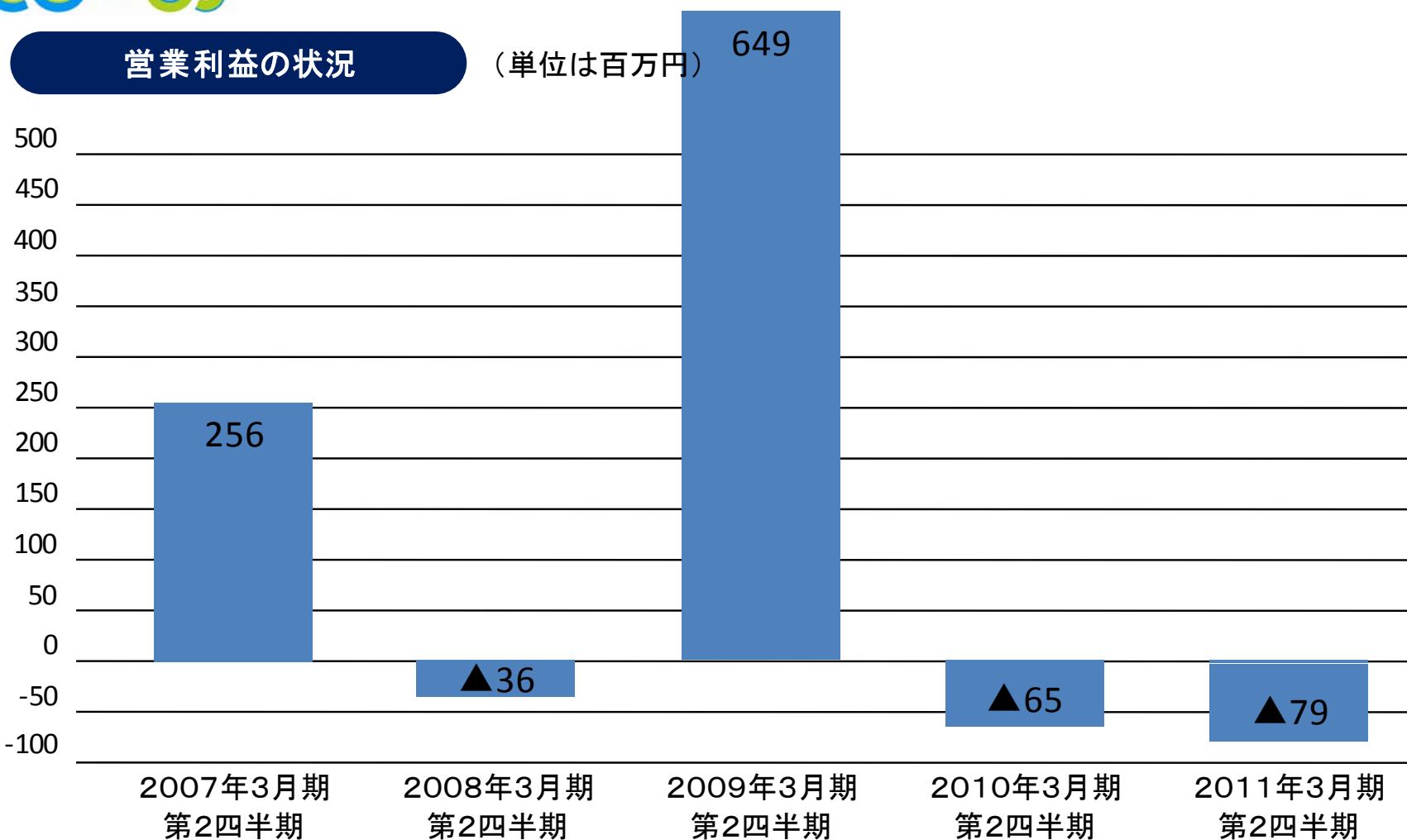
売上総利益の状況

(単位は百万円)



粗利益はセメントとサービスステーションで伸ばしましたが、産業用エネルギーや液化ガスで圧縮されました。



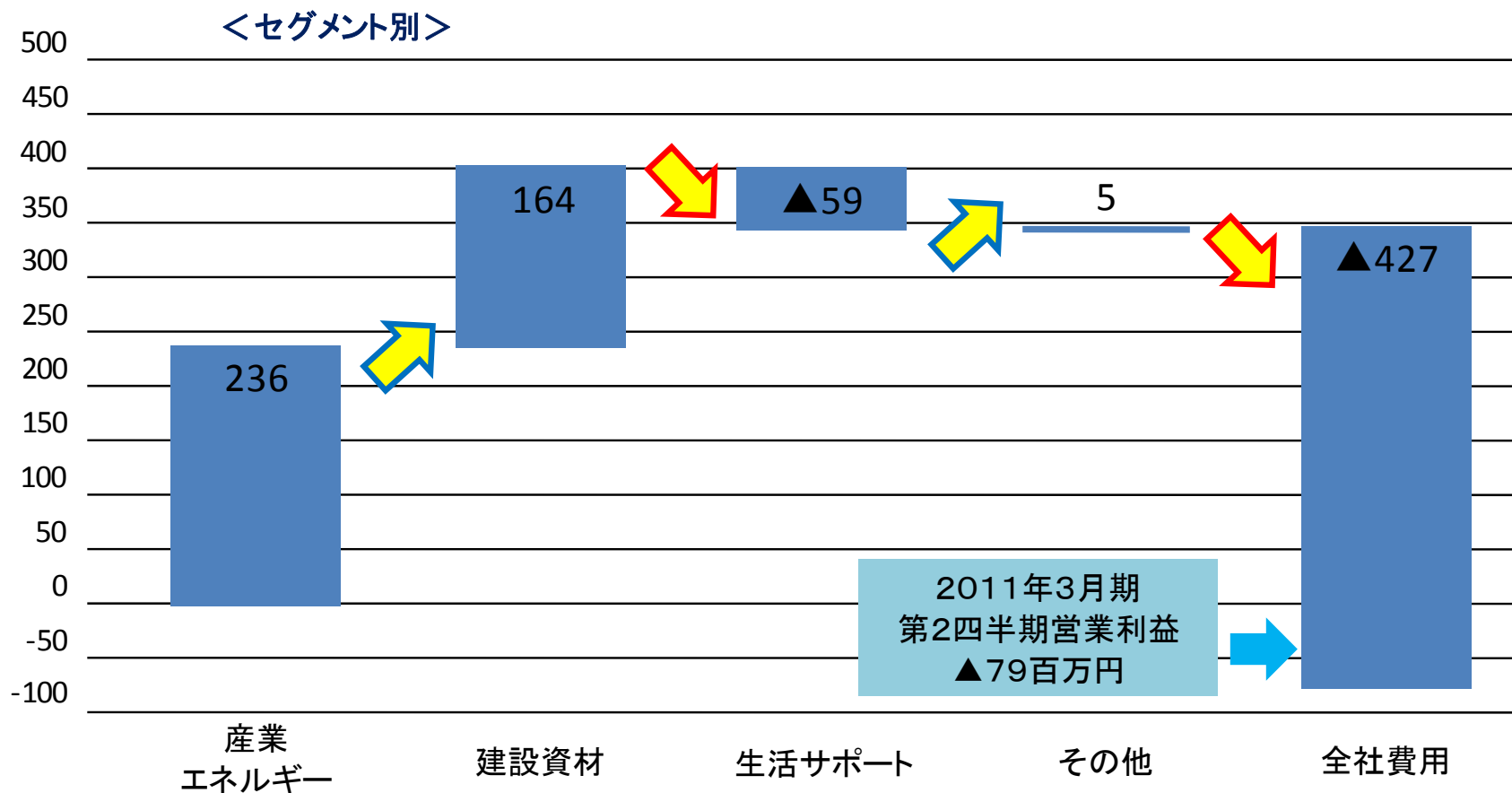


全部門で経営の効率化に取り組み販管費を圧縮いたしました。生活サポートの一部で市況の改善が遅れたことから、全体では営業赤字となりました。



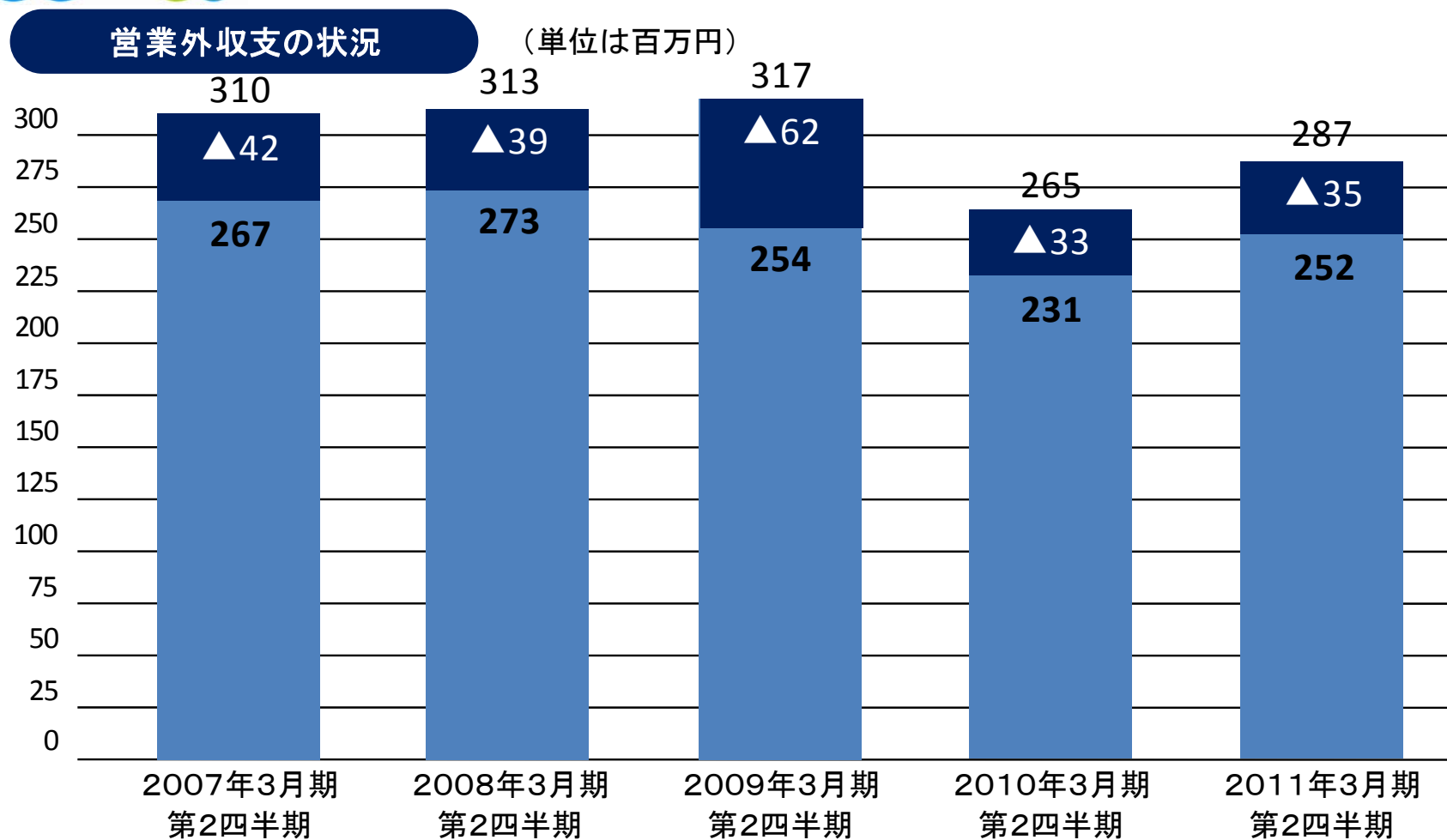
営業利益の状況

(単位は百万円)



産業用エネルギー、建設資材で利益を積み上げましたが、生活サポートで利益を上げられなかったことが営業利益欠損の主たる要因です。





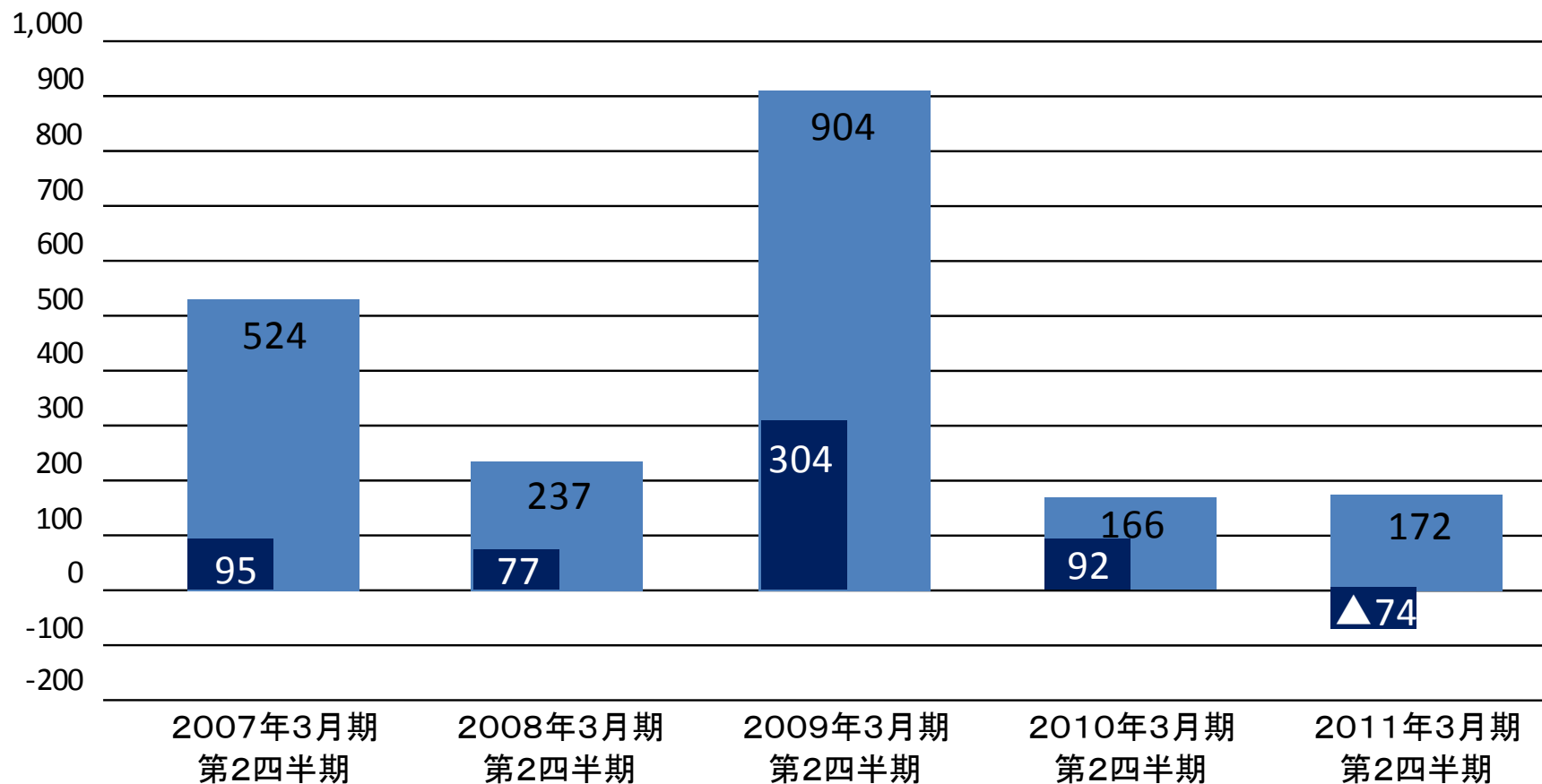
(上段数値は収益、費用は白抜きマイナス表記、下段太字数値が収支合計)

営業外収支では、ほぼ前年並みの利益を確保しております。



経常利益の状況

(単位は百万円)

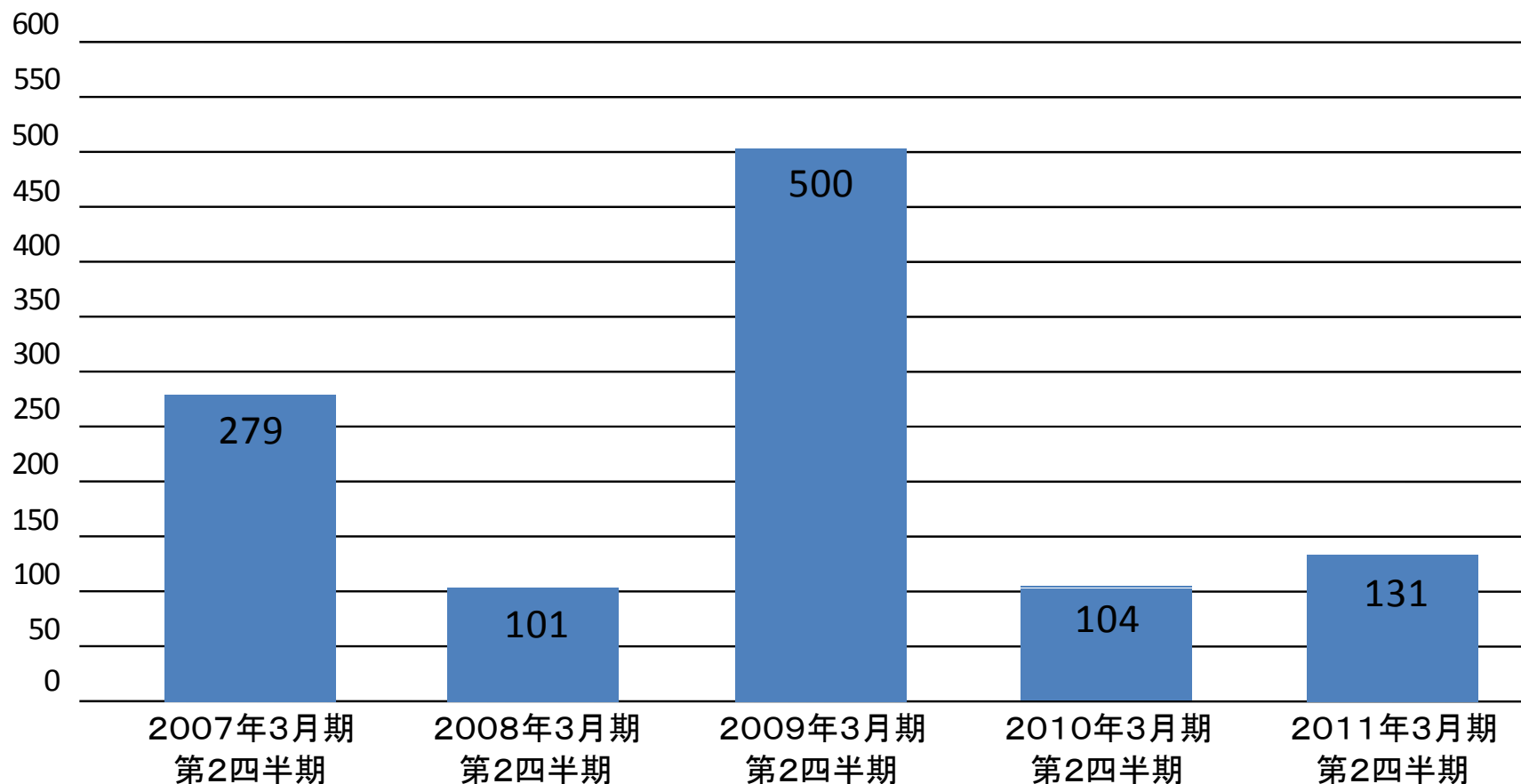


第1四半期の欠損から挽回し前年並みを確保しております。



当期利益の状況

(単位は百万円)



過年度に引当てた貸倒引当金の戻入れや負ののれん発生益があり
最終利益は前年を上回りました。



損益計算書5年間比較	2007年3月期 第2四半期	2008年3月期 第2四半期	2009年3月期 第2四半期	2010年3月期 第2四半期	2011年3月期 第2四半期	通期見通し
営業収益	47,690	43,845	52,346	35,770	39,970	90,000
売上高	47,253	43,392	51,951	35,384	39,597	
売上総利益	2,825	2,572	3,217	2,411	2,296	
役務収益	437	452	395	386	373	
販管費	3,006	3,061	2,962	2,862	2,749	
営業利益	256	▲36	649	▲65	▲79	1,200
営業外収益	310	313	317	265	287	
営業外費用	42	39	62	33	35	
経常利益	524	237	904	166	172	1,500
特別利益	5	2	93	5	154	
特別損失	33	17	46	0	175	
税引前利益	496	222	951	170	151	
四半期純利益	279	101	500	104	131	800

(単位は百万円)

先行きの不透明感が強いことから通期見通しは変更しておりません。

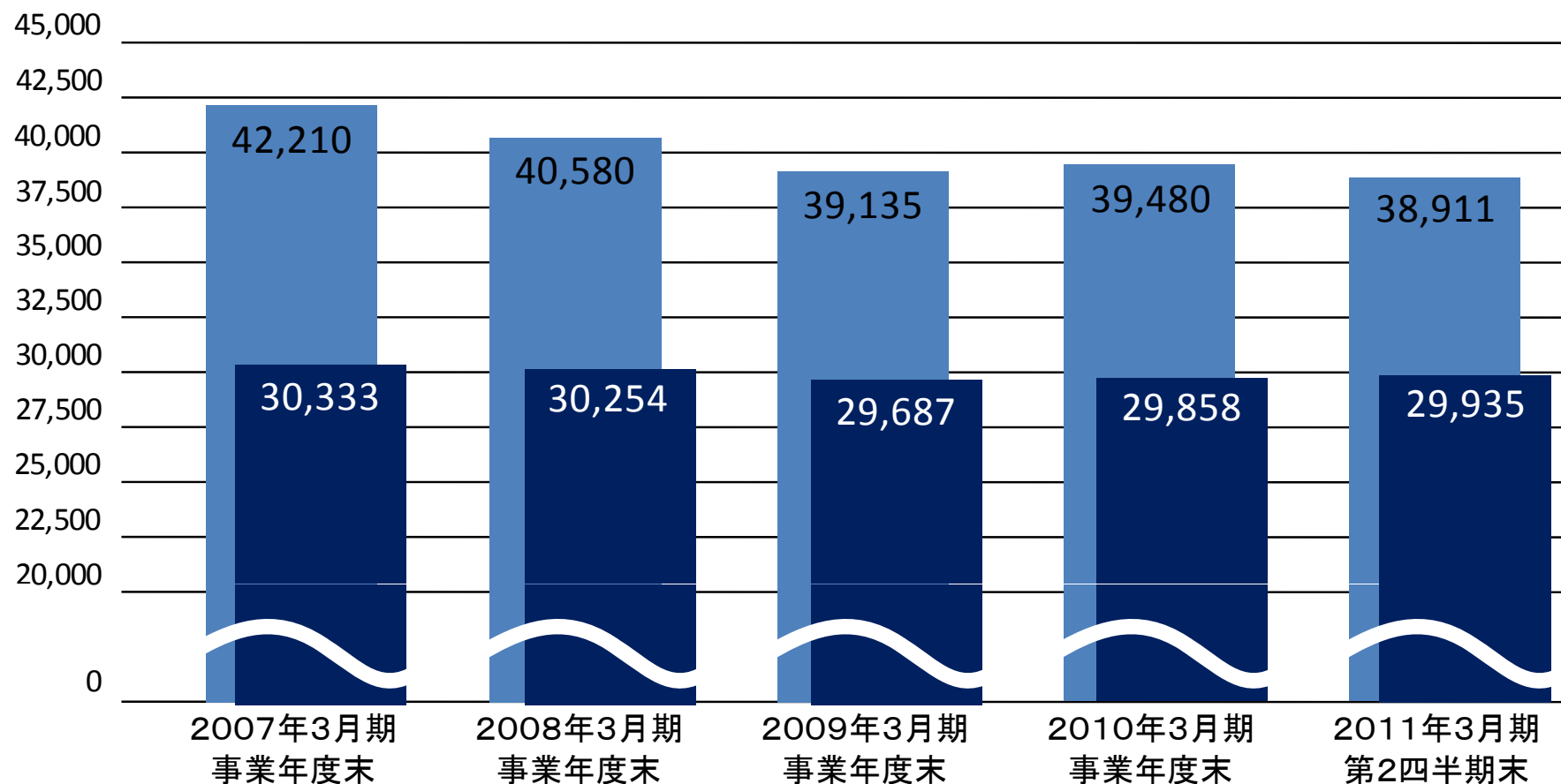


資産の状況

(単位は百万円)

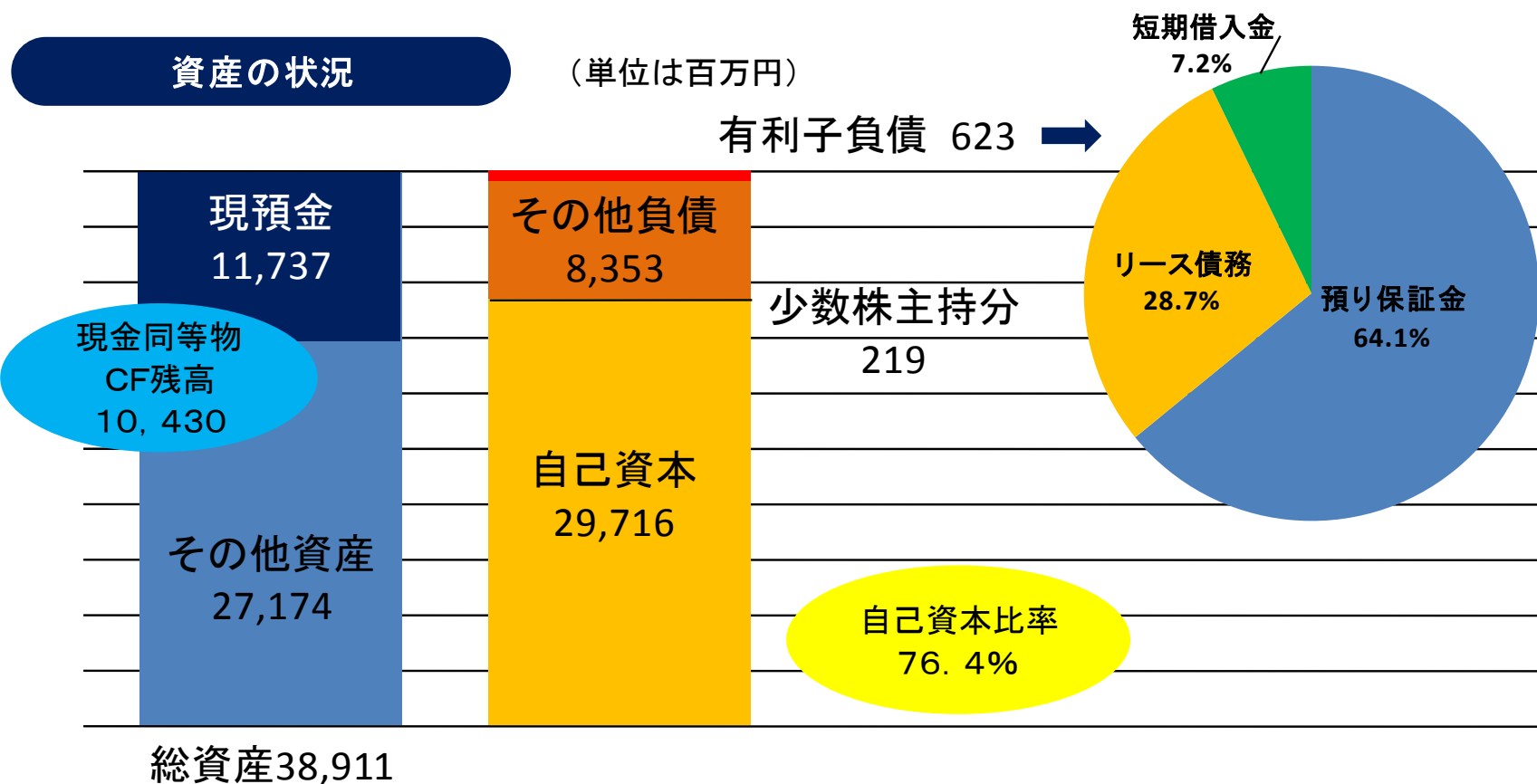
純資産

総資産



資産規模は前期末水準を維持しております。





冬期需要で増加した売掛金を回収し手元現金が増えております。
 下期には冬期需要で販売量が拡大するため現金は減少するものと思われます。



キャッシュフローの状況	2010年3月期 第2四半期	2010年3月期 事業年度末	2011年3月期 第2四半期
期首残高	11, 591	11, 591	8, 876
営業キャッシュフロー	▲618	▲1, 556	1, 816
投資キャッシュフロー	▲346	▲968	▲115
財務キャッシュフロー	▲120	▲189	▲147
増減額合計	▲1, 086	▲2, 714	1, 553
期末残高	10, 505	8, 876	10, 430

(単位は百万円)

営業キャッシュフローでは、エネルギー関連での売上債権が減少しました。
 投資キャッシュフローでは、大阪支店の建て替え、サービスステーションでのポス入れ
 替えなどの支出がありました。
 財務キャッシュフローでは、配当金の支払いがありました。
 前期末から見て現金同等物残高は増加しております。



重要なお知らせ

本プレゼンテーション資料には、上原成商事株式会社及び関係会社の業績・戦略・その他事業計画に関する将来予測などを示す記述や資料が記載されております。

これらは全て、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業況の変化等により、上記と異なる場合があります。

